

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時：令和6年5月28日（火）17：15～18：15（60分）

2 場 所：鹿児島森林管理署 会議室

3 出席者：

鹿児島森林管理署
同
同

香月 英伸
高津 忠孝
萩岡 茂治

署長
次長
総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会

同
同
同
同
同

小薄 政弘
江口 晃
岩下 晃之
松永 一彦
鳥居 大輔

執行委員長
副執行委員長
副執行委員長
書記長
執行委員

4 交渉事項

1. 令和6年度事業予定について
2. 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について
3. その他
 - ・非常勤職員の業務について
 - ・書類の作成及び局への定期報告等について

5 議事概要

1. 令和6年度事業予定について

（職員団体）

署として資源状況や職員へ過度な負担が掛からないよう職場の実行体制等を踏まえた収穫量、生産量、販売量とすること。また、適切な森林整備を進めるため（収穫調査・林道整備等）等の推進に係る事業運営経費の予算、非常勤職員予算、庁費、旅費等、共通費予算の確保と事業実行体制を確保すること。

（当局）

当署の事業実行については、貴組合、職員の皆さまのご理解・ご協力を得て取り組んでいただいていることに感謝申しあげる。

6年度事業についても事業量の確保や収入確保が大変厳しい状況の中、管理者としてリーダーシップを発揮し、緊急性及び優先順位等を勘案し、管理者間、グループ間の連携を確実に図りながら署一丸となって取り組んで参りたい。

また、労働過多とならないよう要員や必要な予算については、上局へ上申して参りたい。

2. 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について

（職員団体）

組織・定員については、慢性的な要員不足を解消できるものとする。特に空席ポスト解消については、一般職員が治山技術官や森林整備官等と同様の業務を担わされ労働過重となっていることから若手職員へのフォローをしっかりと行い、課題解消に向けた対策や空席ポストの解消を図ること。

（当局）

空席ポストの解消は、機会ある毎に上局へ申し入れをしているが、年齢構成の状況などから厳しい状況にあると認識している。

一般職員が森林整備官や治山技術官の業務を担うことで、大きな負担とならないよう、研修や上司のしっかりとしたフォローなど目配り気配りをしながら進めていきたい。なお、業務量とポストに見合った要員配置をするよう引き続き強く要望して参りたい。

3. その他

(職員団体)

非常勤職員の業務について、非常勤職員の業務量も増えてきているなか、実質的には1名減になっているので、業務をスムーズに回していくためリーダーシップを発揮し、フォローを行うこと。また、予算を確保し1名増員できるようお願いします。

(当局)

実質的に減になっていることは承知している。職員の業務の進捗状況を見極めつつ、超過勤務の縮減や年休の取得に向け、しっかりとしたフォローをしながら進めて参りたい。なお、非常勤職員の予算については、上局へ上申して参りたい。

(職員団体)

契約書等の書類作成や局への定期報告及び照会等において、多くのデータが重複しており、業務の負担となっている。業務の負担軽減のため、局署間でのデータを一括管理し、任意の要素を抽出が出来るシステム作成をお願いします。

(当局)

要員の確保が厳しい中、業務の負担軽減は重要である。上局へ上申して参りたい。